

雨がかかりにくい設計

木製サッシは、雨水がかからない状態であるほど長持ちすると言えます。
木材は、水分を吸収すると膨張し、乾燥すると収縮する性質があるため、湿気や水分に長時間さらされると劣化が進みやすくなります。また、紫外線も木材を傷める原因の一つです。
未永くご使用いただくためには、庇や軒を設けるなど、雨水がかかりにくい構造にすることが重要です。

取付について

木製サッシの取付けにおいては、水平と垂直を確認し、正確に据え付けることがとても重要です。
木製サッシは後からの調整が難しいため、据付精度は気密性能や操作性に大きく影響します
特に大型の引戸の場合、敷居の水平が出ていないと建付けが悪くなったり、鴨居が垂れると開閉が重くなったりしますので、十分にご注意ください。
木造の場合、通常は大工さんに取付けをご依頼しております。
RC造や鉄骨造など溶接作業を伴う取付けに関しては、弊社にて承ることも可能です。



塗装について

木材保護塗料を塗ることで、木材の美観を維持しながら耐久性を高めることができます。
クリア系塗装は見た目はきれいですが、紫外線を防ぐ効果がないため、劣化が早くお勧めできません。
クリアに近い薄めの色よりも、濃い色の方が塗料の持ちが良い傾向があります。

● 含浸性塗料

表面に塗膜を作らず木材内部に浸透させるタイプの塗料です。
塗膜を作らないため木の調湿機能を妨げず木が呼吸できるため、含水率を一定に保ち木材が安定します。

● 紫外線防止

紫外線は木材の色を変色させ、劣化を早める原因となります。
木材保護塗料には紫外線防止機能があり、木材の色を長期間保つとともに、紫外線による劣化を防ぎます。

● 防虫・防腐効果

木材は菌やカビ、虫などによって腐敗しやすいですが、保護塗料はこれらの外的要因から木材を守る役割を果たします。

日々のお手入れ

埃や汚れは乾いた布などを使用し拭き掃除を行ってください。
汚れがひどい場合は水拭きし、仕上げに乾いた布で水分を拭き取ります。
中性洗剤を水で薄めて使用しても構いません。



定期的なメンテナンス

木製サッシの再塗装につきましては、1回目は早めに行うことをお勧めいたします。
そうすることで、塗料が木部にしっかりと浸透し、耐久性が向上します。
その後は、一般的には2~3年ごとの再塗装をお勧めしますが、塗装の劣化具合は立地条件や方角、庇や軒の有無などによって異なりますので、木部の状態を見ながらご判断ください。
また、サッシの金具部分（ギア・アーム・丁番・戸車などの摩擦部分）やレールには年に1~2回程度、潤滑油を差していただくことをお勧めします。

